

室の梅 おろく医者覚え帖 宇江佐真理



美馬洞哲(町医者)ーおきん(女房)、おすみ(女中)
 玄哲(長男)、良哲(次男)
 正哲(三男)ーお杏(妻 産婆)
 小川笙船(小石川養生所肝煎)
 深町又右衛門(北町定廻り)、芳三(中間)
 風松(岡っ引)ーお弓(女房)、富士松(息子)
 音松(父)ーおすが(女房)、お春(お弓の母)
 石善 善太郎(石屋)ーお杉(女房)、お千代(女中)
 權次(七軒町の岡っ引)
 上総屋清兵衛(絵草子屋)

鷺床 佐吉(床屋)ーお駒(女房)、春吉(弟子)
 虎吉(大工)ーお熊(女房)、清次(長男)、梅吉(次男)
 和泉屋清右衛門(お袖(女房)、おてい(女中)
 捨吉(入舟町の岡っ引)
 大槻玄沢(蘭学者)
 小桑(産婆)
 源五郎(大工)、おたつ(娘)
 おりつ(仙台屋娘)、治助(番頭)、美代次(手代)
 半蔵(植木売り)
 おすが(尾張屋女郎 あひる)